

後期アクションプラン環境施策 2018 年度進捗状況

基本目標に向けた事業の進捗状況

1. 重点事業

◆基本目標 1. 地域で取り組む地球温暖化の防止

～低炭素社会を目指すまちづくり～

事業名称	【1】「わたしのエコ宣言」による家庭での取り組み支援【環境・自然共生課】		
事業概要	・市民に、地球温暖化防止のために日常生活の中で行う取り組みを宣言してもらい、参加状況から二酸化炭素削減の合計量をホームページで公表し、参加者が効果を実感することにより更なる環境配慮行動の推進につなげます。		
2018 年度実施内容	・緑のカーテンイベントやさんあーる広場 in シバヒロイイベントなどに出展することにより、多くの市民に賛同いただき、参加者は 2,689 人となりました。また町内会自治会の掲示板に「わたしのエコ宣言」チラシを掲示し、広く参加を呼びかけました。		
目標	わたしのエコ宣言参加者の増加		
目標値	10,000 人	基準年度値	-
現状値	3,674 人	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【2】みどりのカーテン等の積極的な導入【環境・自然共生課】		
事業概要	市民団体「緑のカーテンプロジェクト」等と協働で、公共施設への緑のカーテン普及を図るとともに、家庭における緑のカーテン普及を推進します。		
2018 年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・5月9日、つる性植物を育てる初心者向けの緑のカーテン育て方講習会を行い、市民 24 名の参加がありました。 ・5月 12 日 13 日には市庁舎前にてゴーヤの苗の配布を行い、842 世帯、2,526 苗を配布しました。また 14 日には下小山田苗圃にて、施設、団体向けに 3,885 苗配布しました。 ・7月に緑のカーテンの写真を広く募集し、応募された写真はホームページで公開しました。 		
目標	①公共施設参加数の増加 ②市民向け苗の配布数の増加		
目標値	①300 施設（延べ数） ②10,000 苗	基準年度値	①45 施設 ②8,000 苗
現状値	① 87 施設（延べ数） ②6,411 苗	進捗度	★★★★☆

事業名称	【3】歩道の透水性舗装の整備【道路整備課】		
事業概要	雨水を浸透させることで地下水を保全し水循環の健全化を図るため、道路の新設や改良工事時に歩道の透水性舗装の整備を進めます。		
2018 年度実施内容	・都計道 3・4・34 号線（金森）道路築造工事及び南 54 号線道路改良工事（その 2）を完了させ、予定通り透水性舗装をしました。		
目標	透水性舗装面積の増加		
目標値	34,240 ㎡	基準年度値	25,958 ㎡
現状値	33,190 ㎡	進捗度	★★★★☆

注)「目標値」「基準年度値」について

特に年度標記がない限り、「目標値」は 2021 年度、「基準年度値」は 2015 年度の値。

注)「進捗度」について（★の数について）

☆☆☆☆ 0・10% ★☆☆☆ 20・30% ★★★☆ 40・50・60%

★★★★ 70・80・90% ★★★★★ 達成

事業名称	【4】路線バス利用環境整備【交通事業推進課】		
事業概要	公共交通利用を促進するため、バス路線網再編についてバス事業者及び関係機関との協議・調整を行い、路線バスの乗り継ぎ拠点を整備し、乗り継ぎ拠点を活用したバス路線網の再編を行います。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> モノレール延伸を見据えたバス路線網再編に向けた調査検討を実施しました。また、神奈川中央交通と協定を締結し、共同検討をはじめました。 モノレール延伸を見据えたバス路線網再編に向けた調査検討に合わせて、乗り継ぎ拠点候補地における調査測量を実施しました。 		
目標	既存バス停を活用した乗り継ぎ拠点の整備完了		
目標値	既存バス停を活用した乗り継ぎ拠点の整備完了	基準年度値	協議開始
現状値	<ul style="list-style-type: none"> バス路線網再編の検討開始 乗り継ぎ拠点候補地の測量調査実施 	進捗度	★★★☆☆

事業名称	【5】水素ステーションの誘致【環境・自然共生課】		
事業概要	燃料電池自動車普及のため、水素ステーションの市内誘致に向けた取り組みを進めます。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内の交通量が多い幹線道路沿いを中心にステーション適地の調査を行いました。 市内5～6箇所の誘致候補地を検討したものの決定に至りませんでした。 		
目標	水素ステーションの誘致		
目標値	定置式または移動式1施設	基準年度値	—
現状値	調査検討中	進捗度	★☆☆☆☆

事業名称	【6】エコドライブの周知、普及・啓発の実施【環境・自然共生課】		
事業概要	市域全体の温室効果ガス排出量の多くを占める自動車からの排出削減のため、エコドライブの周知、普及・啓発を行い、エコドライブを推進します。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブガイドを環境月間やたまかんフェスタなどのイベントで市民に配布しました。 ホームページを通じ、エコドライブの実践方法などを周知しました。 		
目標	エコドライブ実践者の割合の増加		
目標値	エコドライブ実践者の割合 2015 年度比 10ポイント増	基準年度値	42.8%
現状値	44.6%	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【7】特別緑地保全地区等の指定拡大【公園緑地課】		
事業概要	二酸化炭素の吸収源としてみどりを確保するため、特別緑地保全地区等の指定拡大を目指します。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 山崎特別緑地保全地区の用地取得を完了しました。 		
目標	特別緑地保全地区の面積の増加		
目標値	46.0ha	基準年度値	43ha
現状値	47.5ha	進捗度	★★★★★

◆基本目標 2. 自然環境と歴史的文化的環境の保全

～水とみどりと生物を守り育むまちづくり～

事業名称	【8】都市計画公園の用地取得・整備【公園緑地課】		
事業概要	市内のみどりの拠点となる都市公園として、町田薬師池公園四季彩の杜 西園・北園、野津田公園、芹ヶ谷公園の整備を進めます。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 薬師公園 四季彩の杜は、工事 2 年目の西園及び 1 年目のウェルカムゲートの整備については、工事が完了しています。 野津田公園 拡張区域の実施設計は一部を残し概ね完了しています。観客席増設に伴う造成工事及び実施設計については、順調に進捗しています。 芹ヶ谷公園 1 年目の整備工事及び、2 年目の植生管理は完了しています。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> 町田薬師池公園四季彩の杜 西園の整備完了 野津田公園、芹ヶ谷公園の一部整備完了 		
目標値	<ul style="list-style-type: none"> 薬師池公園四季彩の杜整備完了 西園（2019 年度）・北園（2023 年度） 一部整備完了 野津田公園（2021 年度）、芹ヶ谷公園（2019 年度） 	基準 年度値	—
現状値	<ul style="list-style-type: none"> 薬師池公園 西園(2/3)及びウエルカムゲート(1/2)の整備工事完了 野津田公園 拡張区域実施設計概ね完了 芹ヶ谷公園 整備工事（1/2）及び植生管理(2/3)完了 	進捗度	★★★★☆

事業名称	【9】水辺の魅力の発信【環境・自然共生課】【公園緑地課】		
事業概要	市民の水辺に対する関心を高め、水辺の保全・活用を進めるため、水辺の魅力について情報発信を行います。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ECO まちだ夏号と冬号で水辺の生きものを紹介しました。 11 月 3 日に薬師池公園で、小学生以下を対象とした水辺の生きもの調査を実施し、調査結果をホームページや生きもの共生フォーラムのパネル展示で情報発信しました。 ホームページで水辺の生きものやその保全活動について情報発信しました。【環境・自然共生課】 市民に向けて自然観察会（植物、昆虫、野鳥）を行いました。【公園緑地課】 		
目標	情報発信回数の増加		
目標値	20 回	基準年度値	—
現状値	環境・自然共生課 5 回、公園緑地課 15 回	進捗度	★★★★★

事業名称	【10】生物多様性情報拠点機能の構築・充実【環境・自然共生課】		
事業概要	町田市の生物多様性に関する情報や資料の収集・発信の拠点（生物多様性センター）の機能整備・充実を図ります。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを整理し、町田の生物多様性のページの利便性を図りました。 既存の町田市通報アプリの中に、情報収集機能の一部として生きもの投稿コンテンツを整備し、2019 年 4 月から市民が利用できるようにしました。 		
目標	生物多様性情報拠点機能の整備・充実		
目標値	生物多様性情報拠点機能の整備・充実	基準年度値	内容方向性の検討
現状値	アプリの利用決定	進捗度	★★★★☆

事業名称	【11】北部丘陵の整備【農業振興課】		
事業概要	北部丘陵が持つ資産を磨き、地域の価値を高めるため、手入れの届かない山林を再生保全し、持続性のある仕組みをつくり、さらなる環境整備等を行います。		
2018年度実施内容	・活動団体と上小山田町中谷戸周辺のモデル地区において協定を締結し、新たに里山保全活動を始めました。		
目標	新たな取り組みにより維持管理や活用が図られた山林等の面積の増加		
目標値	5,000㎡	基準年度値	—
現状値	19,108㎡	進捗度	★★★★★

事業名称	【12】遊休農地のあっせん【農業振興課】		
事業概要	休耕している農地を耕作希望者にあっせんすることで遊休農地の活用を図り、農業振興を行います。		
2018年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2回の農地バンク公開を実施し、2019年4月1日付けの農地の貸借が4件成立しました。 ・意欲的な農業者等が遊休農地を積極的に引き受けて農地の有効利用を行う取り組みを後押しするため、町田市農地再生事業を実施し、1件の農地整備の経費を補助しました。 ・青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的として、経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して町田市農業次世代人材投資資金（旧名：青年就農給付金）を4名に交付しました。 		
目標	農地あっせん面積の増加		
目標値	20.0ha	基準年度値	14.3ha
現状値	16.4ha	進捗度	★★★☆☆

事業名称	【13】観光交流拠点を活用したイベントの実施【観光まちづくり課】		
事業概要	観光交流拠点で実施するイベントを通じて、地域の歴史・自然・文化を情報発信するとともに、次世代への継承に寄与します。		
2018年度実施内容	・今年度は、新規イベントを4回実施しました。そのうちの「夏休み工作教室」「夏休み親子で農場体験と里山歩き」は、新たな来館者層として子育て世代をターゲットに実施しました。		
目標	小野路宿里山交流館での自然や歴史・文化に関するイベント実施回数の増加		
目標値	40回/年	基準年度値	32回/年
現状値	39回/年	進捗度	★★★★☆

◆基本目標 3. 持続可能な循環型社会の構築

～ごみを減らし資源を有効活用するまちづくり～

事業名称	【14】 情報発信拠点としてのリサイクル広場の活用【3R推進課】		
事業概要	リサイクル広場を情報発信拠点と位置づけ「地域リサイクル広場」を拡充・拡大し開催回数を増やす中で、効果的に様々な情報発信を行います。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リサイクル広場等の開催にあたり、町内会・自治会を通してチラシの配布・回覧などを行いました。 ・2018年12月15日から、新たに子どもセンターばあんで移動リサイクル広場を実施しています。 		
目標	①リサイクル広場開催箇所数の増加 ②リサイクル広場来場者数の増加		
目標値	①23ヶ所（2020年度） ②36,000人（2020年度）	基準年度値	①17ヶ所（2014年度） ②30,000人（2014年度）
現状値	①24ヶ所 ②31,329人	進捗度	★★★★☆

事業名称	【15】 ごみ減量に関する出前講座の充実【3R推進課】		
事業概要	ごみの減量についての意識の向上を図るため、地域や学校、幼稚園などへのごみについての出前講座を継続して開催します。また、講座内容の充実に努めます。		
2018 月年 度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育園 64回、学童保育クラブ 16回、小学校 33回、町内会自治会等で16回実施し、保育園・幼稚園、小学校では保護者向けの手紙を渡すことで子育て世代の大人への啓発ができました。また新規で公開講座を9回実施しました。 		
目標	出前講座実施回数の増加		
目標値	150回/年（2020年度）	基準年度値	104回/年（2014年度）
現状値	138回/年	進捗度	★★★★☆

事業名称	【16】 食品ロスの啓発等、各種キャンペーンの実施【3R推進課】		
事業概要	ごみの発生抑制を図るため、全国的な食品ロスの状況や町田市のごみの現状について各種機会を通じて伝えることで「もったいない意識」を啓発します。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市施設でのサイズダウンチャレンジ（19回）、水切りキャンペーン（12回）を実施しました。 ・「今が食べごろめしあがれキャンペーン」を市内のスーパー店頭で実施しました（5回）。 ・「食育×食品ロスクイズラリー」をアメリカ町田根岸ショッピングセンターで開催しました（1回）。 ・食品ロス削減をテーマにした展示を実施しました（防災フェア・給食展の2回）。使い切り料理教室を実施しました（2回）。 ・年末年始宴会食べきりキャンペーンを実施しました（2018年12月1日から2019年1月31日まで）。 ・食品衛生講習会において食品ロス削減PRを実施しました（12回）。 ・東京都町田食品衛生協会の定例会（11月）で食品ロス削減啓発を行いました。 		
目標	キャンペーンの実施回数の増加		
目標値	20回/年（2020年度）	基準年度値	12回/年（2014年度）
現状値	55回/年	進捗度	★★★★★

事業名称	【17】 事業所向けの情報提供の実施【3R推進課】		
事業概要	丁寧できめ細かな情報提供のために「ごみ排出事業所」向けの説明会を実施するとともに、廃棄物の基本情報から事業コスト軽減に役立つ情報等を併せた、適正処理ルールブックを作成し、戸別訪問での啓発活動を実施します。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 排出事業者向けの説明会を2回実施しました（一般事業者向け、新任廃棄物管理責任者向け、各1回）。 紙ごみ受け入れ施設については、先進市での取り組み等について、担当職員を訪問しヒアリングを行いました。 58件の大規模事業所に対し、訪問指導を実施しました。 少量排出事業者の登録時の指導等、合計135件の中小事業所への訪問指導を実施しました。 		
目標	①説明会開催回数 ②市内事業所への訪問件数の増加		
目標値	①1回/年（2020年度） ②190件/年（2020年度）	基準年度値	①－ ②－
現状値	①2回/年 ②193件/年	進捗度	★★★★★

事業名称	【18】 生ごみ処理機の導入促進【3R推進課】		
事業概要	生ごみの資源化を進めてごみの発生抑制を図るため、たい肥化容器や生ごみ処理機の購入補助制度などを活用し、生ごみ自家処理の普及を進めます。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ダンボールコンポストについては、4月から9月まで市民向け新規講習会を12回開催し146名の参加がありました。また、町内会・自治会向け講習会を2回開催し31名が参加したほか、学童向け講習会を5回開催しました。 家庭用生ごみ処理機については、139名の方が補助制度を利用しました。 大型生ごみ処理機については、新たな設置をすることはできませんでした。 		
目標	生ごみ自家処理世帯数の増加		
目標値	14,981世帯（2020年度）	基準年度値	1,831世帯（2014年度）
現状値	3,222世帯	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【19】 ごみ・資源の新たな効果的な収集方法の検討【3R推進課】		
事業概要	新たなごみの資源化施設の稼働により収集品目（容器包装プラスチック）が増え、またごみの資源化施設が分散（3ヶ所）するため、稼働時期に合わせた収集方法等を検討します。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 2020年度からの収集体制の変更について、6月に方針を決定しました。 2020年度からの収集体制の変更に向けて、収集ルートや車両台数等の検討を行いました。 		
目標	効果的な収集方法の確立		
目標値	効果的な収集方法の確立（2020年度）	基準年度値	－
現状値	収集方法を検討中	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【20】熱回収施設等の整備【循環型施設整備課】		
事業概要	ごみの減量と資源化を進めるため、市民協働により策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、町田リサイクル文化センター敷地内に熱回収施設等（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）の整備を進めます。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 期工事である、旧花の家の解体及び旧管理棟の解体、造成工事が完了しました。 ・8 月末に建設工事に着手しました。 ・地区連絡会を 4 回実施し、地元住民との調整を継続しています。 		
目標	熱回収施設等の整備、稼働開始		
目標値	稼働開始	基準年度値	事業者候補者選考委員会の開催、整備運営事業者の選定
現状値	第 1 期工事の完了 第 2 期工事進行中	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【21】資源ごみ処理施設の整備【循環型施設整備課】		
事業概要	ごみの減量と資源化を進めるため、市民協働により策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、相原地区、上小山田地区に容器包装プラスチックやビン・カン、ペットボトル等を資源化する施設の整備を進めます。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得に向けて、関係者との調整を行いました。【相原】 ・地区連絡会を開催し、施設建設に関する協議を進めました。【相原、上小山田】 		
目標	①資源ごみ処理施設（相原）の整備、稼働開始 ②資源ごみ処理施設（上小山田）の整備、稼働開始		
目標値	①稼働開始（2025 年度） ②稼働開始（2027 年度） ※2018 年 3 月に稼働開始目標年度の見直しを行いました（当初目標は 2020 年度）。	基準年度値	①要求水準書案の作成準備 ②施設計画等検討
現状値	関係者等と調整中	進捗度	★☆☆☆☆

◆基本目標 4. 良好な生活環境の創造

～安全で快適な暮らしを実現するまちづくり～

事業名称	【22】自転車利用環境の整備【道路政策課】【道路整備課】		
事業概要	大気汚染物質を排出しない自転車の利用を進めるため、自転車走行空間の整備を進めます。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都計道 3・4・34 号線（金森）、忠生 943・町田 623 号線の自転車走行空間整備工事が完了しました。 ・次期自転車レーン設置箇所（町田 95 号線・749 号線）の検討及び警視庁協議を進めました。【道路政策課】 ・都計道 3・4・34 号線（金森）、忠生 943・町田 623 号線の自転車走行空間整備工事が完了しました。【道路整備課】 		
目標	自転車走行空間整備延長		
目標値	3.03km	基準年度値	1.37km（2016 年度）
現状値	2.61km	進捗度	★★★★☆

事業名称	【23】下水道未整備箇所の污水管整備の推進【下水道整備課】		
事業概要	汚水を適正に処理し、河川水質の向上を図るため、下水道未整備箇所の下水道の整備を推進します。		
2018 年度 実施内容	・公共下水道下小山田町污水枝線工事のほか 7 案件の污水枝線工事を実施しました。		
目標	下水道人口普及率の増加		
目標値	99.0%	基準年度値	98.5%
現状値	98.8%	進捗度	★★★☆☆

事業名称	【24】下水処理水の水質向上【水再生センター】		
事業概要	下水処理場（鶴見川クリーンセンター）に高度処理施設を増設することにより、下水処理水の水質向上を図ります。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴見川クリーンセンターにおいて増設工事が予定通り完了し、高度処理現有能力は 2 池分となりました。また、流入負荷変動を把握することで、工事期間および試運転期間中も安定した水質を確保しました。 ・成瀬クリーンセンターにおいて段階的の高度処理を 2 池導入し、その能力を含む高度処理現有能力は前年度より増加しました。 		
目標	高度処理化率の増加（段階的の高度処理を含む）		
目標値	20.6%	基準年度値	9.8%
現状値	25.9%	進捗度	★★★★★

事業名称	【25】有害化学物質の適正管理・処理の指導【環境保全課】		
事業概要	有害物質使用特定事業場からの土壌・地下水汚染を未然に防止するため、継続的に指導を行い、事業者の適正な有害物質の管理・使用を促します。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までの立入指導結果を踏まえ、予定より遅くなりましたが 6 月に立入計画を立案しました。 ・立入計画に挙げていた事業場と今年度から対象となった事業場等合わせて 23 件の事業場に対し立入を行い、有害物質使用特定施設及びその付帯設備の構造基準や使用方法に関して指導しました。また、必要な届出が提出されていない事業場に対して届出指導を行い、提出を促しました。 		
目標	全対象事業場 57 箇所（2016 年 3 月 31 日時点）への継続監視		
目標値	20 件／年	基準年度値	—
現状値	23 件／年	進捗度	★★★★★

事業名称	【26】生活風景宣言等による良好な景観づくり【地区街づくり課】		
事業概要	景観という言葉の浸透を目指し、身近な取り組みで「まちの美化」につながる取り組みを宣言してもらう「生活風景宣言」を制度として推進していきます。意識の高まりに合わせて、景観協定の締結や地域景観資源の登録につなげていきます。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活風景宣言の登録制度について検討を行い、周知のための準備を行いました。 ・町田市住みよい街づくり条例に基づき登録されている地区街づくり団体の関係者に声掛けを行いました。 		
目標	「生活風景宣言」件数の増加		
目標値	5 件（2020 年度）	基準年度値	—
現状値	0 件	進捗度	★☆☆☆☆

◆基本目標 5. 環境に配慮した生活スタイルの定着

～学び・協働で進めるまちづくり～

事業名称	【27】環境副読本を活用した環境教育の実施【指導課】【環境政策課】		
事業概要	市内公立小学校の授業や自宅学習で環境副読本を活用し、環境問題への意識を高めるとともに、町田市環境についても考える機会を提供します。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 環境広報紙 ECO まちだで環境副読本の紹介、普及啓発を行いました。 12 月に活用状況を確認するアンケートを市内全小学校で実施しました。3R 推進課が行う「ごみと環境の出前講座」の事前・事後学習で使用したという事例が多かったため、引き続き 2019 年度も 3R 推進課が行う「ごみと環境の出前講座」で環境副読本を紹介することを調整しました。さらに環境・自然共生課が行う「水素自動車と環境の出前講座」でも環境副読本を活用することを調整し、これらの内容を 3 月の校長会で活用事例の紹介とともに報告し、2019 年度の更なる活用を依頼しました。 		
目標	環境副読本の市内公立全小学校での活用		
目標値	市内公立全小学校 42 校	基準年度値	—
現状値	38 校	進捗度	★★★★☆

事業名称	【28】子ども向け環境講座のプログラムの企画・実施【環境・自然共生課】		
事業概要	子どもへの環境学習を進めるため、環境に関する実験や体験を重視した子ども向け環境講座のプログラムを企画・実施し、学習機会の充実を図ります。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 水素の実験による子ども向け環境学習講座の実施し親子 42 人が参加しました。ライトダウン関連紙芝居では公立保育園 3 園で開催したほか、星空観望会では親子 48 人が参加しました。 セミの鳴き声やぬけがらを見分けるセミナーを実施し、子ども 24 人が参加しました。 セミの鳴き声調査を実施し、子ども 178 人が参加しました。 薬師池公園で水辺の生きもの調査を実施し、親子 23 人が参加しました。新たな取り組みとして、燃料電池自動車を使った環境出前講座を小中学校 3 校で実施しました。 新たな取り組みとして、子どもセンター 4 館で地球温暖化や生物について学べる新たなプログラムを実施し、297 人が参加しました。 		
目標	新たなプログラムの企画・実施による環境学習の充実		
目標値	新たなプログラムの企画・実施による環境学習の充実	基準年度値	既存プログラムの改善 新規プログラムの実施
現状値	既存プログラムの改善 新規プログラムの実施	進捗度	★★★★★

事業名称	【29】まちだエコ宣言制度の推進【環境・自然共生課】		
事業概要	事業者と市の協働による環境配慮活動の推進に向け、自主的に環境配慮活動(エコ活動)を行っている事業者がその取り組み内容を宣言(エコ宣言)し、市に登録します。市は、その取り組み内容を市民や他の事業者に広く PR し、更なる環境配慮型の事業活動及び消費活動を促進します。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 環境白書や ECO まちだで取組のようすを紹介しました。 エコ宣言参加事業者に年度末に活動報告を提出してもらい、それぞれの活動報告をまとめ、ホームページで紹介しました。 		
目標	まちだエコ宣言制度への参加事業者数の増加		
目標値	100 店・事業所	基準年度値	67 店・事業所
現状値	60 店・事業所	進捗度	★☆☆☆☆

事業名称	【30】 ホームページの充実による情報集約・発信【環境政策課】		
事業概要	町田市ホームページに作成した「エコページ」を活用し 環境情報の収集・発信を強化します。また、分野別・年代別など、わかりやすい情報発信を行います。		
2018 年度 実施内容	・「まちだのエコページ」を見直し、新たに作成した学習一覧を公開した他、部全体のホームページも改善しました。また、インスタグラムを使用した情報発信の試行を開始しました。		
目標	①エコページへのアクセス数の増加 ②分野別・年代別環境学習一覧の作成		
目標値	①8,000 件 ②分野別・年代別環境学習一覧の作成（2018 年度）	基準年度値	①3,987 件 ② —
現状値	①4,555 件 ②環境学習一覧の作成	進捗度	★★☆☆☆

事業名称	【31】 ごみ減量サポーターの地域活動支援【3R推進課】		
事業概要	町内会・自治会で、出前講座やリサイクル広場、ダンボールコンポスト説明会等を開催するなど、「ごみ減量サポーター」がそれぞれの地域で、ごみ減量をすすめ、地域で活躍する取り組みを支援します。		
2018 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量サポーターが主体となって地域リサイクル広場を開催した団体数は、9 団体から6 団体に減少しました。また、ごみ減量サポーターが主体となって出前講座を開催した団体数は、11 団体から 14 団体に増加しました。 ・市主催のごみ減量サポーター向け研修会（11 月）とごみ減量サポーター向け施設見学会をそれぞれ1 回実施しました。 		
目標	ごみ減量サポーターが主体となり、出前講座やリサイクル広場の開催、大型生ごみ処理機導入を行う団体数の増加		
目標値	10 団体／年	基準年度値	—
現状値	20 団体／年	進捗度	★★★★★

2. その他の事業

◆基本目標 1. 地域で取り組む地球温暖化の防止

～低炭素社会を目指すまちづくり～

(1) 地球温暖化防止の意識の浸透を図り、取り組みを促します

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①地球温暖化対策の取り組みの情報を分かりやすく発信します		
パンフレットの配布、ホームページ等による地球温暖化対策の取り組みや助成制度等の情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ECO まちだで市民と事業者向けのエコ宣言などの呼びかけ、取り組みの紹介を行いました。 ・ホームページでは国や都で実施されている助成制度などの情報提供を行いました。 ・ゴーヤ等のつる性植物配布イベントで「わたしのエコ宣言」を広く市民に呼びかけ、多くの市民にエコ宣言していただきました。 ・市のホームページに宣言状況を掲載し、二酸化炭素削減量を算出し公開しました。【環境・自然共生課】 	○ ①
地球温暖化対策の具体的な取り組みの周知	<ul style="list-style-type: none"> ・広報まちだや ECO まちだ、ホームページ、イベントなどで情報提供を行いました。【環境・自然共生課】 	○ ①
②温室効果ガス排出量やエネルギー使用量の「見える化」を進めます		
市の施設からの温室効果ガス排出量、エネルギー使用量の公表	<ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度の市役所及び市域全体の温室効果ガス排出量を取りまとめ、12 月に「町田市環境白書 2018」を発行しました。また、市のホームページでも公表しました。【環境政策課】 	○ ①
家庭でのエネルギー使用量を測定するための「省エネナビ」等の貸し出しの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・環境広報紙 ECO まちだに記事を掲載し、ホームページ更新などを行い省エネナビ利用を呼びかけた結果、15 件の申込みがあり貸出数の増加につながりました。【環境・自然共生課】 	○ ①
エネルギー使用測定のためのツールやアプリに関する情報の収集・提供	<ul style="list-style-type: none"> ・国や他自治体、企業等のホームページや関係機関誌などから情報収集を行いました。【環境・自然共生課】 	○ ①
③地域や市民の地球温暖化対策の取り組みを促進するための仕組みを運用します		
→重点事業 1（「わたしのエコ宣言」による家庭での取り組み支援） P1 参照		

(2) 持続可能なエネルギー利用への転換を図ります

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①公共施設における取り組みを進めます		
公共施設への再生可能エネルギー・省エネ機器の導入推進	<ul style="list-style-type: none"> ・LED 照明、省エネタイプの空調機器については、町田市立陸上競技場観客席増設実施設計業務、工芸美術館実施設計業務、温浴施設整備工事基本設計業務等全ての設計業務委託にて盛り込むことができました。 ・温浴施設整備における再生可能エネルギーの導入については、熱改修施設からの蒸気供給については採用しました。【営繕課】 ・町田第六小学校防音及びトイレ改修工事の契約を締結し、節水型トイレやセンサー照明の改修工事に着手しました。【施設課】 	○ ①②
ごみの資源化施設への再生可能エネルギーの導入推進	<ul style="list-style-type: none"> ・要求水準書作成の基本となる事業コンセプトの検討を行いました。【循環型施設整備課】 	△ ①②
未利用エネルギーの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥処理基本設計ではバイオマス発電設備の導入検討の他に、革新的技術となる焼却炉廃熱発電設備の導入検討を行うことができました。 ・太陽光発電の利用検討については、導入の可能性が低い結果となりましたが、下水熱利用システムについては、次年度に向けて計画しました。【水再生センター】 	○ ①②

注) 「評価」について

◎: 予定以上に実施できた ○: 予定どおりに実施できた △: あまり予定通りに実施できなかった
×: まったく予定通りに実施できなかった - : 取り組みなし (目標達成済み又は終了した事業)

取り組み項目	2018年度実施内容	評価 達成目標
街路灯・園内灯の省エネ化	・民間業者とリース契約を締結し、LED化に向けて街路灯の現状調査を開始しました。【道路維持課】	○ ①
	・LED更新に伴い民間事業者と賃貸借契約を締結し、保守管理システムの構築を完了しました。【公園緑地課】	○ ①
市庁舎の屋上緑化・壁面緑化	・低木及び多年草をボランティアと一緒に支援事業者の指導を受けて、一年を通じ育てることが出来ました。【市有財産活用課】	○ ①
→重点事業2（みどりのカーテン等の積極的な導入） P1 参照		
②家庭における取り組みを促進します		
市民を対象とした住宅用太陽光発電システムをはじめとする省エネ機器の情報提供による普及促進	・東京都・国による支援事業や省エネ機器の紹介を市ホームページで行いました。【環境・自然共生課】	○ ①②
家庭への省エネ機器等の導入支援の検討、情報提供	・東京都・国による支援事業や省エネ機器の紹介を市ホームページで行いました。【環境・自然共生課】	○ ①
→重点事業2（みどりのカーテン等の積極的な導入） P1 参照		
③事業活動における取り組みを促進します		
事業活動における省エネの促進のための情報提供	・東京都・国による支援事業や省エネ機器の紹介を市ホームページや環境広報紙ECOまちだで行いました。【環境・自然共生課】	○ ①
まちだエコ宣言制度の推進	・環境白書において、登録事業者の取組み紹介を行い、登録することによるメリットを生み出し、次年度のベース作りを継続して行いました。【環境・自然共生課】	△ ①②③
商店街街路灯のLED化推進	・商店会から問い合わせがあった際には、補助制度についての説明を行いました。また、商店会向けに補助制度についての説明会を開催しました。【産業政策課】	○ ①
事業活動における再生可能エネルギーの導入、省エネ促進のための融資に係る利子の一部補助	・町田市中小企業融資制度において環境改善整備資金のメニューを設け、取扱金融機関等と連携し、事業者から求めがあった際にはメニュー内容についての説明を行いました。 ・取扱金融機関の担当者向けに、制度についての説明会を開催しました。【産業政策課】	○ ①②

（3）地球温暖化防止に貢献するまちづくりを進めます

①町田市全体で取り組む、地球温暖化防止行動を進めます

取り組み項目	2018年度実施内容	評価 達成目標
①町田市全体で取り組む、地球温暖化防止行動を進めます		
→重点事業3（歩道の透水性舗装の整備） P1 参照		
町田市のエネルギー利用の現状や、地球温暖化に関する学習機会の提供	・夏季に水素エネルギーに関する夏休み環境学習、また星空観望会や講演会を実施し、主に小中学生を対象にした学習機会を提供しました。【環境・自然共生課】	○ ①
ライトダウン等節電意識向上のためのキャンペーンの実施	・環境省「ライトダウン2018」において市職員等に呼びかけ、節電意識の向上を図ることができました。 ・2018年度も相模原市、各団体との連携や調整が順調に進み、充実した事業とすることができました。【環境・自然共生課】	○ ①
②自動車利用を控え、公共交通利用を進めます【(4-[1]-③)で再掲】		
→重点事業4（路線バス利用環境整備） P2 参照		
地域コミュニティバス等の運行	・相原地区において、タクシー車両を用いた小型乗合交通の第2回実証実験運行を実施しました（2019年9月まで） ・新規3地区（つくし野・本町田・成瀬北）において、小型乗合交通の導入に向けた関係機関との協議・調整を実施しました。【交通事業推進課】	◎ ①③
市が開催するイベント時の公共交通利用の推進	・緑のカーテンイベントやセミ・セミナーなどの催しで公共交通機関の利用を呼びかけました。【環境・自然共生課】	○ ①③
③低公害車の普及促進等を図ります【(4-[1]-④)で再掲】		
→重点事業5（水素ステーションの誘致） P2 参照		
→重点事業6（エコドライブの周知、普及・啓発の実施） P2 参照		

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
次世代自動車等の低公害車の普及促進	・電気自動車充電器の利用を促すとともに、燃料電池自動車の展示や、低公害車の仕組みについてのパネル展示、ホームページでのコンテンツ公開などにより、普及啓発を行いました。【環境・自然共生課】	○ ①
低公害車〔天然ガス自動車・ハイブリッド車・電気自動車等〕の公用車としての導入検討・実施	・旧環境基準の業務用車両8台を、現行基準に適合した車両に買い替え、環境配慮車両比率を向上させました。また、その内2台はハイブリッド車を導入しました。【市有財産活用課】	◎ ①
④自転車利用環境の整備を進めます【(4-[1]-⑤)で再掲】		
自転車走行空間の検討・整備	・自転車レーンを設置(L=940m)し、次期自転車レーン設置個所の検討及び警視庁協議を行いました。【道路政策課】	○ ①③
	・自転車レーンを設置(L=940m)しました。【道路整備課】	○ ①③
自転車駐車場の整備	・自転車駐車場の建て替え等を含めた更新・運営方針を策定しました。【道路管理課】	○ ①③
市職員の近隣移動時の自転車利用の推進	・全庁掲示板を通じ、職員に自転車利用を促進しました。【環境・自然共生課】	△ ①③
	・8月に電動自転車置き場に、自転車利用のルールとマナーについてを設置しました。また、10月に職員に対して自転車利用の促進を図るように通知しました。【市有財産活用課】	○ ①③
⑤町田の農産物の地産地消を推進します【(2-[4]-⑤)で再掲】		
学校給食での地場産農産物の利用推進	・小学校給食へ地場産農産物を提供した農家に対して補助を行いました。全小学校で新規にまち☆ベジメニューの日を2回実施しました。【農業振興課】	○ ①
まち☆ベジマップ(農産物直売所マップ)、まち☆ベジグルメ店なびの配布による地産地消PR	・月2回の地場農産物の販売時、キラリ☆まちだ祭等で地産地消のPRを行いました。【農業振興課】	○ ①

(4) 二酸化炭素の吸収源として、みどりの確保を推進します

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①二酸化炭素吸収源を維持するため、緑地を保全します		
→重点事業 7 (特別緑地保全地区等の指定拡大) P2 参照		
市内緑地の適正な維持管理	・現地調査や市民要望に対応し草刈りや樹木剪定を行い、緑地を適切な状態で保全しました。【公園緑地課】	○ ①
街路樹の適正な維持管理	・枯損などにより欠損した植樹樹等に、計795株の低木を植栽し、連続した緑の確保を行いました。【道路維持課】	○ ①
②二酸化炭素吸収量の増加を図るため、緑化を推進します		
緑化推進に関連した対策の検討	・5月中旬、市庁舎前にてゴーヤ苗の配布を行い、約842世帯、2,526苗を配布しました。 ・施設、団体向けに約3,900苗配布しました。 ・公共施設での緑のカーテン導入を87施設(延べ数)で実施し、6,411苗を配布しました。【環境・自然共生課】	△ ①
	・他の施策を優先して進めており、具体的な検討が実施できませんでした。【環境政策課】	△ ①

◆基本目標 2. 自然環境と歴史的文化的環境の保全

～水とみどりと生き物を守り育むまちづくり～

(1) みどりを守り、増やし、育て、活かす取り組みを進めます

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①緑地の現状を把握し、公表します		
市内公園緑地等の調査の実施	・市内の公園緑地等の把握と取りまとめを行いました。【公園緑地課】	○ ①
市域全体に対する緑地の割合の把握と公表	・市内の公園緑地等の把握を行い、公表しました。市域全体の緑地割合は、2021 年度の町田市緑の基本計画改定時に調査を予定しています。【公園緑地課】	○ ①
②みどりの保全を進めます		
→重点事業 8 (都市計画公園の用地取得・整備) P3 参照		
街路樹の適正な維持管理	・街路樹の定期管理により、適切な大きさと枝葉量を保ちました。【道路維持課】	○ ①
③身近なみどりを増やします		
街区公園の整備	・宅地開発等に伴う提供公園の適正な指導に努めました。【公園緑地課】	○ ①
民間の施設における緑化の制度や基準 [緑化基準等] の導入検討	・「町田市宅地開発事業に関する条例」や「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づく運用を行っており、新たな制度や基準の導入は予定していません。【公園緑地課】	— ①
市庁舎の屋上緑化・壁面緑化	・低木及び多年草をボランティアと一緒に支援事業者の指導を受けて、一年を通じ育てることが出来ました。【市有財産活用課】	○ ①
みどりのカーテン等の積極的な導入	・5月中旬、市庁舎前にてゴーヤ苗の配布を行い、約 842 世帯、2,526 苗を配布しました。 ・施設、団体向けに約 3,900 苗配布しました。 ・公共施設での緑のカーテン導入を 87 施設 (延べ数) で実施し、6,411 苗を配布しました。【環境・自然共生課】	△ ①
④市民協働による緑地の保全、維持管理を進めます		
公園や施設等の緑について、公益的市民活動団体による維持管理の運用支援	・公益的活動団体との連携により、ふるさとの森など緑地の保全・維持管理を行いました。 ・資材の提供など、公益的活動団体の活動支援を実施しました。【公園緑地課】	○ ①
伐採木、伐採竹の製品化等による利用促進	・他施策を優先して進めるため、2018 年度は取り組みがありませんでした。【環境・自然共生課】	— ①
⑤緑地を保全しながら活用し、ふれあいの場を確保します		
自然観察会の開催、里山整備活動を体験できる場の提供	・忠生公園自然観察センター、かしの木山自然公園において四季おりの植物、昆虫、野鳥などを題材とした観察会を開催しました【公園緑地課】 ・鶴見川源流保水の森において、公募の市民等を対象に、NPO 団体との協働により植樹会を実施しました。【一農業振興課】	○ ①③ ○ ①③

(2) 水辺の保全・活用と水循環の健全化を進めます

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①水辺環境を保全します		
アダプト事業による高ヶ坂松葉調整池の維持管理作業の支援	・樹木の剪定や調整池の浚渫を通じ、高ヶ坂松葉調整池の維持管理作業の支援活動を行いました。【下水道管理課】	○ ②
②湧水地の保全、地下水保全のため、水源涵養域の保全、雨水の浸透を図ります		
鶴見川・境川・恩田川等の水源涵養域にある樹林地等の保全	・公益的市民活動により、適正な維持管理に努めました。【公園緑地課】	○ ②

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価
		達成目標
道路の新設や改良工事における、歩道部の透水性舗装の実施	・ 歩道の透水性舗装による整備を行いました。 A=2,413 m ² 【道路整備課】	○ ②
宅地開発・中高層建築物の雨水貯留施設設置の指導及び個人住宅の雨水浸透設備設置補助事業の普及促進	・ 雨水貯留施設について、宅地開発・中高層建築物に対して、5件の指導を行いました。雨水浸透設備設置補助事業について2件の補助を行いました。【下水道管理課】	○ ②
宅地開発業者に対する雨水浸透施設設置の指導	・ 85 件の宅地開発事業に対して雨水浸透施設設置の指導をしました。【土地利用調整課】	○ ②
東京都環境確保条例に基づく地下水の揚水量の把握、必要に応じた地下水利用者への指導	・ 全施設 118 件に対し報告するよう指導をし、84%の事業場から報告書が提出されました。未報告事業場に対しても、報告するよう引き続き指導します。【環境保全課】	○ ②
湧水調査の継続、湧水地の保全	・ 5 年ごとの湧水マップ改訂年度であり、現地調査を実施し、東京都に調査結果を報告しました。【環境・自然共生課】	○ ②
	・ 環境・自然共生課と湧水情報を共有しましたが、保全策は実施しませんでした。【環境政策課】	△ ②
市街化調整区域における特定土地利用行為に関する水循環の健全化	・ 市街化調整区域における2件の特定土地利用行為に対して透水性舗装の指導をしました。【土地利用調整課】	○ ②
③町田の水辺の魅力を発信します		
→重点事業 9（水辺の魅力を発信） P3 参照		

（3）生物多様性の保全を進めます

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価
		達成目標
①生物多様性に関する情報を発信します		
→重点事業 10（生物多様性情報拠点機能の構築・充実） P3 参照		
生物多様性の確保や外来生物対策に関する市の方針、取り組み状況の発信、啓発活動の実施	・ 2018 年6月1日より、アライグマ・ハクビシンの防除事業を開始し、ホームページで捕獲状況を発信しています。 ・ 4月にハイイロクゲモが市内で発見された際、速やかにプレスリリースやホームページで注意喚起を行いました。 ・ 生物多様性情報拠点として、既存の町田市通報アプリを利用した生きものの写真や位置情報を収集する仕組みを構築しました。【環境・自然共生課】	○ ③
自然観察会、学習会等の開催	・ 忠生公園自然観察センター、かしの木山自然公園において四季おりおりの植物、昆虫、野鳥などを題材とした観察会を開催しました【公園緑地課】	○ ③
	・ 鶴見川源流保水の森において、公募の市民等を対象に、NPO 団体との協働により自然環境学習会を実施しました。【農業振興課】	○ ③
②市内の生物の生育・生息状況を把握します		
市民協働による生きもの調査の実施	・ セミの鳴き声調査を実施し、今年度は 242 人が参加しました。 ・ 水辺の生きもの調査は薬師池公園で、小学生以下を対象に親子 23 人に参加いただき、生息している生きもの調査を行いました。【環境・自然共生課】	○ ③
③生物多様性保全の取り組みを推進します		
学校におけるピオトープの創出、活用	・ 生活科や理科の学習において、水辺の生き物の観察・飼育を実施しました。【指導課】	○ ③
熱回収施設等におけるピオトープの創出	・ タフブネや水槽へ仮移植中の希少動植物のモニタリングを行いました。【循環型施設整備課】	○ ③
環境保全団体との協働による、生物の保全推進	・ 町田生きもの共生フォーラムにおいて、団体から、活動の周知をしていただきました。 ・ 新たに実施する市全域の生物分布調査について周知し、協力を呼びかけました。【環境・自然共生課】	○ ③
	・ 忠生公園、かしの木山自然公園においてボランティアと協働し、樹林地等の適正な維持管理に努めました。【公園緑地課】	○ ①③

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
NPO 団体との協働による、貴重な生物の保全促進	・ 鶴見川源流保水の森及び小野路町奈良ばい谷戸において、NPO 団体との協働により里山環境を保全・再生しました。【農業振興課】	○ ①③
ピオトープ作庭イベントの開催	・ 家庭向けの普及啓発資料を作成、配布した。ピオトープの写真を募集し、ホームページや環境学習展において、公開しました。 ・ 小学校のピオトープ活用状況のアンケートを実施し、2019 年度の出前授業に向けた準備を行いました。 ・ 講師を招いてピオトープ講習会を企画しましたが、エコフェスタが中止になり実施できませんでした。【環境・自然共生課】	○ ③
④外来生物対策を進めます		
生態系や農業生産に被害を及ぼす外来生物の防除	・ 増加傾向にある有害鳥獣の捕獲・殺処分の委託契約を行い、被害の減少を図りました。 ・ 電気柵を用いた効果的な防除方法の検証を行いました。【農業振興課】	○ ③
外来生物の適正な飼育・管理の普及啓発	・ 2018 年6月1日より、アライグマ・ハクビシンの防除事業を開始し、広報やホームページ、イベントで周知しました。また、外来生物のFAQを整備し、ホームページでの情報発信を行っています。【環境・自然共生課】	○ ③

(4) 谷戸の環境と農地・農業を守ります

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①谷戸の環境を保全し、活用します		
→重点事業 11 (北部丘陵の整備) P4 参照		
樹林地の管理による里山の適正な更新	・ 他施策を優先して進めるため、現在取り組みの予定はありません。【公園緑地課】	— ①③
東京都への緑地里山保全地域指定の要請	・ 三輪地区について、都へ要請を行いました。【公園緑地課】	○ ①
市民を対象とした自然環境学習会による谷戸環境の再生管理	・ 他施策を優先して進めるため、現在取り組みの予定はありません。【公園緑地課】	— ①③
自然環境学習会や市民協働による谷戸環境の再生管理	・ 小野路町奈良ばい谷戸において、地域の伝統農法による谷戸環境の再生に取り組むとともに、公募市民による農業体験(通年)の機会を提供しました。【農業振興課】	○ ③
②多面的機能を有する農地を保全するため、農業支援を進めます		
→重点事業 12 (遊休農地のあっせん) P4 参照		
農産物直売所の開設支援	・ 農家からのヒアリングや、農家やアドバイザー等と販売に向けての話し合いを行いました。【農業振興課】	○ ①
市街化調整地域の耕作放棄地の解消	・ 2回の農地バンク公開を行い、2019 年 3 月 31 日付での農地あっせん面積は、16.4ha となっています。【農業振興課】	○ ①
援農ボランティアの育成を行う市内NPO法人に対する事業支援	・ 援農ボランティアを育成する団体に、育成に係る経費に対して補助金を交付しました。【農業振興課】	○ ①
農業研修事業の実施	・ 第8期生、11 名が、2年間の農業研修を修了しました。修了生全員が、農業に携わるための進路を選択しています。【農業振興課】	○ ①
③環境保全型農業に取り組む農業者の育成を進めます		
環境保全型農業に取り組む農業者の支援・拡大	・ エコ農産物認証取得者およびエコファーマーに対して補助率を上げて堆肥流通促進事業補助金を交付しました。【農業振興課】	○ ①

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
④市民が農業とふれあえる機会を提供します		
市民農園、体験農園の開設・運営支援	・市内3園の市民農園について管理運営を行いました。体験農園について、利用者募集の広報等の支援を行いました。【農業振興課】	○ ①
農業体験機会の提供	・13組32名の応募があり、田植え、草取り、稲刈りの体験を実施しました。【農業振興課】	○ ①
	・野菜作りを通して、作る楽しさや苦勞を感じ、食材に対する考えを見直すとともに、大切に食べようとする気持ちを育てることを目的とした体験活動を行いました。【指導課】	○ ①
米作り体験農業の実施	・13組32名の応募があり、田植え、草取り、稲刈りの体験を実施しました。【農業委員会】	○ ①
⑤町田の農産物の地産地消を進めます【再掲(1-[3]-⑤)】		
学校給食での地場産農産物の利用推進	・小学校給食へ地場産農産物を提供した農家に対して補助を行いました。新規にまち☆ベジメニューの日を2回実施しました。【農業振興課】	○ ①
まち☆ベジマップ(農産物直売所マップ)、まち☆ベジグルメ店なびの配布による地産地消PR	・月2回の地場産農産物の販売時、キラリ☆まちだ祭等でPRを行いました。【農業振興課】	○ ①

(5) 歴史的文化的環境を守ります

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①歴史的文化的環境を保全します		
国・都・市指定史跡・有形文化財の整備事業の実施	・牢場遺跡の用地取得及び八幡平遺跡の土木工事を実施しました。【生涯学習総務課】	○ ①
文化財保護の一環として国・都・市指定史跡・有形文化財の広報活動の実施	・文化財ウィークに合わせて企画展を開催しました。多摩郷土誌フェアにおいて関連図書を販売しました。文化財防火デーに伴い消防演習を実施しました。【生涯学習総務課】	○ ①
②自然や歴史・文化とのふれあいを進めます		
→重点事業 13 (観光交流拠点を活用したイベントの実施) P4 参照		
フットパスの普及促進	・小野路宿里山交流館及び町田市観光コンベンション協会でフットパスガイドツアーを実施しました。 ・フットパスルート「相原から七国峠」に道標を2基設置しました。【観光まちづくり課】	○ ①
自然観察会の開催	・忠生公園自然観察センター、かしの木山自然公園において四季おりおりの植物、昆虫、野鳥などを題材とした観察会を開催しました【公園緑地課】	○ ①③

◆基本目標 3. 持続可能な循環型社会の構築

～ごみを減らし資源を有効活用するまちづくり～

(1) ごみの減量、資源化に対する意識の向上を図り、取り組みを促します

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①3Rについて普及啓発を進め、排出抑制を促します		
→重点事業 14 (情報発信拠点としてのリサイクル広場の活用) P5 参照		
ごみの減量を意識づけるためのホームページ等の充実	・ホームページの内容を充実させるとともにホームページのページ階層を見直しました。【3R推進課】	○ ①②③
広報紙による啓発	・ECO まちだを年4回発行しました。【環境政策課】	○ ①②③
	・ごみナクナーレを2回発行し、5団体、1個人のごみ減量の取り組みを紹介しました。そのほか市民からいただいたごみ減量のアイデアを紹介しました。【3R推進課】	○ ①②③

取り組み項目	2018年度実施内容	評価 達成目標
②ごみの減量、分別排出の徹底に関する市民の学習の機会を提供します		
→重点事業 15（ごみ減量に関する出前講座の充実） P5 参照		
ごみ減量に関する体験型学習機会の充実	・ 町内会・自治会等を対象にした講座は 16 回実施しました。うち 1 か所においては屋外にステージを設置し来場者を対象にした公開講座を実施しました。【3R推進課】	○ ①②③
剪定枝資源化センター、リレーセンターみなみ等の見学機会の充実	・ 剪定枝資源化センターは 10 件、リレーセンターみなみは 12 件の施設見学を受け入れましたが、市民だけではなく他自治体や事業所からの見学であったため、市民に対して資源化の意識向上を図れたかは難しいところです。しかし、見学者に対して市の取り組みや減量に関する説明を行うことができたことは成果として挙げられます。【資源循環課】	△ ①③
③市民・市民団体・事業者との協働によるごみ減量の啓発活動を進めます		
ごみ減量サポーター（廃棄物減量等推進員）との地域活動の促進	・ 6 団体に地域リサイクル広場の開催支援をしました。また、ごみ減量サポーターを対象とした研修会を 11 月に 1 回、リサイクル施設見学会を 12 月に 1 回開催しました。【3R推進課】	○ ①②③
市民・市民団体・事業者と協働し、その活動を支援	・ 「ハチドリ教室を伝える会」は小学校 2 校で実施しました。その他学童保育クラブや自治会と協働でごみ減量のイベントを実施しました。【3R推進課】	○ ①②③

（２）ごみの発生抑制、再使用を進めます

取り組み項目	2018年度実施内容	評価 達成目標
①家庭におけるごみの減量・発生抑制を促進します		
→重点事業 16（食品ロスの啓発等、各種キャンペーンの実施） P5 参照		
有料指定収集袋利用制度の継続	・ 月ごとに在庫数を把握し、製造量を調整することで安定供給をすることができました。【3R推進課】	○ ①②
回収した粗大ごみの修理、販売	・ まちだエコライフ推進公社と「粗大ごみ等の有効利用に関する協定」を締結し、協定に基づき提供した粗大ごみ等を同公社が修理・再生し、販売しました。【3R推進課】	○ ①③
②事業系ごみの減量を促進します		
→重点事業 17（事業所向けの情報提供の実施） P6 参照		
事業系ごみの適正排出のための事業者への丁寧できめ細かな情報提供と発信	・ 大規模事業所への訪問や説明会での指導など、470 件の事業所・事業者に対して指導を行いました。 ・ 一般廃棄物の減量や適正排出に積極的かつ組織的に取り組んでいる事業所を表彰する「まちだ 3R 賞」制度を策定し、申請受付および審査を行い、1 件の事業所を表彰しました。【3R推進課】	○ ①②③
	・ 2018 年度は事業者への訪問を 70 件行い情報提供や適正搬出のための指導を行いました。また、事業系ごみ組成調査報告から、更に有用な情報があれば提供していきます。【資源循環課】	○ ①②
事業者と連携した食品ロスの啓発活動の推進	・ 商工会議所や商店会、食品衛生協会などの事業者団体と連携した「まちだ☆おいしい食べきり運動」やリサイクル推進店と連携した「今が食べごろめしあがれキャンペーン」を実施しました。 ・ 食品ロス削減に積極的に取り組んでいる事業者を認定する「まちだ☆おいしい食べきり協力店」制度を創設しました。【3R推進課】	○ ①②
③市内イベントでのごみの発生抑制の取り組みを推進します		
市内でのイベント開催時におけるリユース食器の利用促進など、ごみの出ないイベント開催の支援	・ ごみ減量サポーターに対し制度概要の説明を行い、支援イベント数が 102 件に増加しました。【3R推進課】	○ ①②
各種イベントでの「ごみ減量キャンペーン」の実施	・ 7 月に保健所と合同で食品ロス削減の啓発イベントを、アメリカ町田根岸ショッピングセンターで新たに開催しました。 ・ 10 月の 3R 推進月間には、市内リサイクル推進店 5 か所で「今が食べごろめしあがれキャンペーン」を開催しました。【3R推進課】	○ ①②③

(3) ごみの資源化を進めます

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①生ごみの資源化を図ります		
→重点事業 18 (生ごみ処理機の導入促進) P6 参照		
ダンボールコンポスト等の 利用方法や生成物の使い方 講座の開催	・ 市民向けは新規講習会を 12 回開催し 146 名の参加、フォロー講習会 を 6 回開催し 40 名の参加がありました。【3R 推進課】	○ ①②③
②プラスチックの資源化を図ります		
容器包装プラスチックの市 内全域での資源化に向けた 検証及び準備	・ 既に収集を開始している地域において、容器包装プラスチックの分別の 促進や適正排出の啓発を目的に、複数のターゲットに対して 4 回の周知 活動を行いました。【3R 推進課】	○ ①③
搬入された製品プラスチッ クの資源化	・ 年間を通じて安定的に資源化することができました。一方で、プラスチ ックごみが世界的な問題になっていることから、新規開拓は難しい状況 にあります。引き続き調査検討を実施していきます。【資源循環課】	○ ①③
③生活や社会活動から発生するごみの資源化を図ります		
剪定枝の資源化・有効利用の 推進	・ 稼働から 10 年が経過し、剪定枝たい肥は安定して資源化されていま す。 ・ 各種イベントにも積極的に参加してきたことにより、PR 効果は徐々に 表れ始めています。【資源循環課】	○ ①③
「リサイクル広場まちだ」で の回収品目追加の検討	・ 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加して実施 している携帯電話の回収について、同プロジェクト終了後の回収方法等 について検討しました。【3R 推進課】	○ ①③
地域住民主体で運営する地 域リサイクル広場の拡大	・ ごみ減量サポータを通じ、自治会町内会へ PR を行いました。【3R 推 進課】	△ ①③
搬入廃棄物の分別による再 資源化の促進	・ 2018 年度も継続して、廃棄物からの資源化に取り組んできました。 ・ 廃棄物を取り巻く情勢から新規開拓が難しいことや、逆有償に転じるケ ースが出始めているのが実情です。【資源循環課】	△ ①③
事業所の紙ごみリサイクル の促進	・ 先進市での取り組み等について、担当職員を訪問しヒアリングを行いま した。【3R 推進課】	△ ①③
家庭からでる雑紙の資源化 促進	・ 啓発手段を検討した結果、「町田市から発送する封筒に啓発文を入れる」 という手段で啓発を行いました。【3R 推進課】	○ ①③

(4) ごみの適正な排出処理を進めます

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①ごみ排出ルール周知徹底等の普及啓発を進め、適正な排出を促します		
ごみの出し方・分別等の情報 を発信するホームページ等 の充実	・ 市民が資源とごみを正しく分別し計画的に出して頂けるよう適宜ホーム ページの不明瞭箇所の確認や情報の追加等を行いました。【3R 推進 課】	○ ①③
広報紙による啓発	・ 収集カレンダーの全戸配布を予定通り実施しました。 ・ 出し方ガイドは、臨時多量ごみに関する情報を載せるなど情報を更新 し、3 月末に作成しました。【3R 推進課】	○ ①③
集合住宅の管理会社等への、 ごみの出し方や減量に関す る説明会の実施	・ 35 件の集合住宅に対して、集積所・ごみ置き場への啓発看板設置や管 理会社への適正排出の指導を行いました。【3R 推進課】	○ ①②③
「ルールブック」を活用し た、事業系ごみの適正排出の ための啓発	・ ルール違反のあった事業所 42 件に対し、指導を行いました。 ・ 排出事業者向け講習会を 2 回実施しました。【3R 推進課】	○ ①③
事業系ごみ搬入物検査機に よる、ごみの適正排出に関す る指導の徹底	・ 年間を通じて、事業系ごみ検査機による内容物検査を実施しました。廃 棄物の混入があった時は口頭注意、注意書、処理報告書の提出を求めて います。徐々にですが、適正搬入に転じるケースが出始めています。【資 源循環課】	○ ①③

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
②適切なごみ収集と運搬の効率化を図ります		
→重点事業 19（ごみ・資源の新たな効果的な収集方法の検討） P6 参照		
収集車両の適正配置によるごみ収集・運搬の効率化	・ 予防整備に努め、車両を大切に使用しました。車両故障の対応は、収集の効率を重視し修繕や買替を行いました。【3R推進課】	○ ①
ごみの収集車両として天然ガス車、ハイブリッド車等の導入推進	・ 7月に、2020 年度の収集体制の変更を見据えた代替計画の見直しを行いました。【3R推進課】	○ ①
③安全で適切にごみ処理を行います		
ごみの適正処理に関する情報の案内、配布物等による情報提供	・ ECO まちだに清掃工場のエネルギー有効活用について記事を掲載しました。またイベントへ参加し情報発信に努めました。 ・ 広報紙等では継続して粗大ごみの予約制について周知を行い、町内会自治会には予約制開始後の状況説明を行いました。【資源循環課】	○ ①
④焼却灰等の有効利用を継続します		
清掃工場で発生した焼却灰等のエコセメント化による資源化	・ 2006 年から継続して焼却灰等は東京たま広域資源循環組合にてエコセメント化しています。2018 年度の資源化量は約 8,000 トンとなっています。【資源循環課】	○ ①③
下水処理場の汚泥焼却灰、沈砂の建設資材等としての再資源化	・ ばいじん（焼却灰）、燃えがら（流動砂等）の再資源化率 100%、汚泥（沈砂汚泥等）の再資源化率 90%、その他産業廃棄物の再資源化率 99%の再資源化率を達成した。【水再生センター】	◎ ①③
⑤ごみの資源化施設の整備を進めます		
→重点事業 20（熱回収施設等（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）の整備） P7 参照		
→重点事業 21（資源ごみ処理施設の整備） P7 参照		

◆基本目標 4. 良好な生活環境の創造

～安全で快適な暮らしを実現するまちづくり～

（1）大気汚染の防止に努めます

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①大気汚染状況を監視し、市民へ公表します		
市内の大気環境の把握〔常時監視（都）、沿道大気調査（市）〕	・ 主要幹線道路交差点等における大気調査を 12 月に 6 地点で行いました。 ・ ダイオキシン類等分析調査を 3 地点で年 2 回（8、2 月）行いました。【環境保全課】	○ ①
大気調査結果や大気汚染情報等の収集及び周知・提供	・ 2017 年度に実施した大気調査結果について、4月にホームページで公表しました。【環境保全課】	○ ①
光化学スモッグ注意報等発令時の周知	・ 光化学スモッグ東京都メール配信への登録案内の情報提供を環境広報・ホームページ及び、町田市メール配信サービス（子育て情報、気象・地震情報、学校教育情報）にて行いました。また、学校情報・注意報等が発令された際にはすみやかに関係機関へ情報提供しました。（2018 年度の東京都多摩南部における注意報の発令回数は 2 件でした）【環境保全課】	○ ①
②事業活動での大気汚染物質の発生を抑制します		
大気汚染について、工場等を設置する事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	・ 工場等設置時に届出がある場合は、届出内容を確認し、必要に応じて事業者に対しては、苦情等があった際に、現地確認し、改善について指導をしました。【環境保全課】	○ ①
野外焼却防止のための事前指導や広報等による啓発	・ 苦情があった際に現地に出勤し、禁止及び例外行為に該当する場合は近隣への配慮を行うよう指導しました。また、環境広報紙 ECO まちだに野焼きに関する記事を掲載し、防止を啓発しました。【環境保全課】	○ ①
③自動車利用を控え、公共交通利用を進めます【再掲（1-〔3〕-②）】		
路線バスの利用環境整備	・ 町田木曾会館前バス停及び馬場十字路バス停にバス停上屋を設置しました。 ・ 鶴川中央バス停、やくし台センターバス停、金森四丁目バス停にバス停ベンチを設置しました。【交通事業推進課】	◎ ①

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価
		達成目標
地域コミュニティバス等の運行	・ 相原地区において、タクシー車両を用いた小型乗合交通の第2回実証実験運行を実施しました（2019年9月まで）。 ・ 新規3地区（つくし野・本町田・成瀬北）において、小型乗合交通の導入に向けた関係機関との協議・調整を実施しました。【交通事業推進課】	◎ ①
市が開催するイベント時の公共交通利用の推進	・ 緑のカーテンイベントや環境セミナーなどの催しで公共交通機関の利用を呼びかけた。【環境・自然共生課】	○ ①
④低公害車の普及促進等を図ります【再掲（1-[3]-③）】		
次世代自動車等の低公害車の普及促進	・ 電気自動車充電器の利用を促すとともに、燃料電池自動車の展示や、低公害車の仕組みについてのパネル展示、ホームページでのコンテンツ公開などにより、普及啓発を行いました。【環境・自然共生課】	◎ ①
水素ステーションの誘致	・ 水素ステーション適地の検討を行いました。誘致に至りませんでした。【環境・自然共生課】	△ ①
エコドライブの周知、普及・啓発	・ イベント実施時にはエコドライブガイドの配布を行いました。また、外部の研究会にも参加し、庁内における周知も行いました。【環境・自然共生課】	○ ①
低公害車[天然ガス自動車・ハイブリッド車・電気自動車等]の公用車としての導入検討・実施	・ 旧環境基準の業務用車両8台を、現行基準に適合した車両に買い替え、環境配慮車両比率を向上させました。また、その内2台はハイブリッド車を導入しました。【市有財産活用課】	◎ ①
⑤自転車利用環境の整備を進めます【再掲（1-[3]-④）】		
→重点事業 22（自転車利用環境の整備） P7 参照		
自転車駐車場の整備	・ 自転車駐車場の建て替え等を含めた更新・運営方針を策定しました。【道路管理課】	○ ①
市職員の近隣移動時の自転車利用推進	・ 全庁掲示板を通じ、職員に自転車利用を促進しました。【環境・自然共生課】	△ ①
	・ 8月に電動自転車置き場に、自転車利用のルールとマナーについて周知する掲示を設置しました。 ・ 10月に職員に対して自転車利用の促進を図るように通知しました。【市有財産活用課】	○ ①

（2）良好な水質の確保に努めます

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価
		達成目標
①汚水管の整備と合併処理浄化槽の普及による適正な汚水処理対策を進めます		
→重点事業 23（下水道未整備箇所の汚水管整備の推進） P8 参照		
②河川へ放流する下水処理水の水質向上を図ります		
→重点事業 24（下水処理水の水質向上） P8 参照		
③水質汚濁物質の排出抑制のため、市民・事業者への働きかけを推進します		
水質汚濁について、河川等へ直接排水を行う事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	・ 公共用水域に直接汚水を排水している29事業場に対し、排水の水質検査を実施しました。基準の超過がみられたときは、原因究明及び対策の指導をしました。【環境保全課】	○ ②
下水道法に基づく、下水道に排水を行う事業者への調査や指導の実施	・ 予定通り聞き取り調査を70件実施し、下水道法に基づく届出等について指導を行いました。また、予定通り排水検査を延べ46件実施し、基準を超過した4件の事業場については、年度内に改善を完了させました。【水再生センター】	○ ②
特定施設未届事業場の発見と、届出の指導の実施	・ 環境保全課と情報を共有するとともに、特定施設見届け事業場の発見と特定施設の届け出指導を行いました。【下水道管理課】	○ ②
	・ 保健所が保有しているクリーニング許可事業場のリストや、下水道部に提出されている事業場の届出状況を確認し、届出指導を行いました。【環境保全課】	○ ②
規制対象外事業者へのグリーンズ阻集器等の管理に関する啓発	・ ホームページ等を利用し、排水設備の適正管理の啓発活動を行いました。 ・ 市内119店舗に対してグリーンズ阻集器の維持管理の啓発・指導を行いました。【下水道管理課】	○ ②

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
地下水汚染について、工場等を設置する事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	・既存の事業場にて構造等の変更に関する届出書が提出された時に、構造基準の遵守義務や定期点検の実施義務を指導しました。【環境保全課】	○ ②
土壌や地下水汚染の防止のため、農薬や施肥の適正量の利用及び低減に向けた啓発の実施	・エコ農産物認証取得者およびエコファーマーに対して補助率を上げて堆肥流通促進事業補助金を交付しました。 ・また、エコ農産物認証シールの購入経費に対し、補助金を交付しました。【農業振興課】	○ ②
下水接続の普及促進	・予定どおり鶴川地区の未接続家屋及び供用開始して間もない家屋（2017・2018 年度供用開始分）に公共下水道接続のための普及活動を行いました。【下水道管理課】	○ ②
河川の水質事故防止のための広報等による啓発	・水質汚濁防止法の特定事業場からの水質事故が発生した時に、水質事故の発生を防ぐ啓發文書を公共用水域に排水している事業場に対し送付しました。【環境保全課】	○ ②
下水道の正しい使い方の指導	・下水道 PR 部会を中心に成瀬クリーンセンターさくらまつりを通じ、下水道の啓発活動を行いました。【下水道管理課】	○ ②
下水処理場への市民等の施設見学受け入れ	・成瀬クリーンセンターにおいて、6 団体・258 名の方、鶴見川クリーンセンターにおいて、5 団体・193 名の方、総数 11 団体・451 名の方が施設見学に訪れました。【水再生センター】	○ ②
④市内の主要河川等において、定期的な水質調査を実施します		
主要河川である鶴見川、境川、恩田川等の河川調査の実施とホームページ等での調査結果の公表	・河川調査は予定通り月 1 回実施しました。調査結果についてはまとめ次第、公表する予定です。【環境保全課】	○ ②

（3）誰もが安心して快適に暮らせる環境の実現を図ります

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①有害化学物質等の適正管理・処理の指導を進めます		
→重点事業 25（有害化学物質の適正管理・処理の指導） P8 参照		
事業者が自ら化学物質の適正な管理を行えるよう届出の指導	・化学物質使用量報告書の提出が必要とされる適正管理化学物質取扱事業者 74 件から報告書が提出されました。 ・また、事業者に対しては必要に応じ化学物質管理方法書の作成を指導しました。【環境保全課】	○ ③
既存建物の解体時におけるアスベスト使用調査・届出・適正処理の指導	・アスベスト使用建築物の解体等工事について、事前相談や届出受理について適切に指導することができました。また、年 2 回の建設リサイクル法に関する一斉パトロールのほか、東京都から依頼のあったパトロールについても実施し、看板の掲示などに不備があった場合には指導しました。【環境保全課】	○ ③
	・建設リサイクル法の届出時に、適切にアスベストを処理するよう指導を行いました。また、月一度解体現場を見回り、適正に処理するよう指導を行いました。【建築関係審査課】	○ ③
②悪臭の発生防止に努めます		
悪臭について、工場等を設置する事業者に対する事前指導及び、悪臭を発生させた事業者への指導	・工場設置認可申請等を受ける際には、あらかじめ悪臭が発生しない作業工程や設備の導入をするよう指導しました（2018 年度は工場 22 件、指定作業場 48 件の申請がありました）。 ・悪臭を発生させてしまった事業所等に対しては、原因を究明したうえで、作業工程を変更するなど再発防止対策を講ずるよう指導しました。【環境保全課】	○ ③

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価
		達成目標
清掃工場における、臭気測定の実施及び設備の適正管理による臭気の発生抑制対策の実施	・ 清掃工場内で発生した臭気は焼却炉で燃焼による処理を行い、また脱臭装置の運用を適正に行ったことで、清掃工場の敷地境界線地表における臭気指数の測定結果は規制基準値に適合していました（測定値：10 未満）。【資源循環課】	○ ③
農業者に対する畜舎清掃や畜糞の適正処理方法、施肥の適正な使用方法の周知等、臭気発生抑制の指導	・ 畜舎の衛生管理に必要な経費に対する補助を行いました。 ・ 周辺住民からのご意見をいただく中で、関係機関と協力しながら臭気発生抑制の対応を行いました。【農業振興課】	○ ③
③自動車や、事業活動による騒音・振動問題への取り組みを進めます		
主要幹線道路における自動車騒音調査の実施	・ 自動車騒音常時監視・面的評価については7ヶ所委託にて実施しました。 ・ また市内幹線道路の自動車騒音測定（要請限度）についても3ヶ所直営にて実施しました。【環境保全課】	○ ③
騒音・振動について、工場等を設置する事業者や工事を行う事業者に対する事前指導及び違反事業者への指導	・ 工場設置認可申請等や事前協議、特定建設作業実施届を受ける際には、騒音や振動の発生に注意し、近隣へ配慮するよう指導しました（2018年度は事前協議147件、特定建設作業148件の申請がありました）。 ・ また、騒音や振動により近隣から苦情が生じた場合には、原因を究明したうえで、事業場等に対して作業工程を変更するなど再発防止対策を講ずるよう指導しました。【環境保全課】	○ ③
④航空機騒音の軽減のための取り組みを進めます		
国及び米軍に対し、NLP や早朝・夜間・土日祝日の飛行の中止・制限等を要請	・ 国及び米軍に対し、早期かつ確実に空母艦載機の移駐等を実施するとともにきめ細かく情報提供を行うこと、恒常的訓練施設を確保すること、空母艦載機による騒音問題の解決に積極的に取り組むことを厚木基地騒音対策協議会*で要請しました。 ・ 米軍に対し、厚木飛行場周辺における「航空機騒音防止対策の推進」について東京都と共同で要請しました。【企画政策課】	○ ③
航空機騒音の常時測定〔市内5箇所〕と測定結果の広報	・ 航空機騒音常時測定（市内5箇所）を適切に実施しました。 ・ 航空機騒音について、市が測定した結果を広報やホームページで公表し、航空機騒音による苦情件数とともに速やかに関係機関に報告しました。【環境保全課】	○ ③
⑤その他の問題の対策を考え、安心して快適な環境の実現を図っていきます		
建物等を建設する事業者に対する電波障害の事前調査や対策の指導	・ 中高層建築物を建築する際の事前協議において、10m以上の建築物の場合は、テレビの受信障害調査を実施し、その報告書の提出を指導しました。また、建築中または建築後に受信障害が発生した場合は、速やかに対応するよう指導しました。 ・ 川崎市内において高層建築物の計画があり、その環境影響評価準備書の中で、町田市内に受信障害が及ぶことが示唆されていることから、意見を提出しました。【環境保全課】	○ ③
電波障害及び受信障害の相談、情報提供	・ テレビ受信障害調査報告書に基づいた障害予測地域の情報提供を行いました。【環境保全課】	○ ③
事業者に対する屋外照明、駐車場での車両照明等の配慮など光害未然防止の指導	・ 工場等設置届出時及び中高層建築物を建築する際の事前協議、大規模小売店舗立地法に伴う事前協議において、屋外照明や車両の灯火による光害防止対策を講ずるよう指導しました。【環境保全課】	○ ③
街路灯への遮光板の取り付け	・ 市民からの要望により年間、33基の街路灯に遮光板を取り付けました。【道路維持課】	○ ③
監視・指導による土砂の不法投棄の防止と早期発見	・ 土砂の埋立に関する相談を受けた際に、条例に基づいた許可を取得するよう指導を行いました。また、外出時には監視を行いました。【建築開発審査課】	○ ③
近隣騒音などのトラブル防止のためのマナー啓発	・ 生活騒音についての啓発記事をホームページの掲載、環境省からの普及啓発ポスターの掲示を行いました。【環境保全課】	○ ③
市民の生活環境の保全のための空き家対策の推進	・ 管理不全となっている空家所有者への文書による意識啓発や現地調査に基づく現状についての情報提供を実施した結果、管理不全となっていた空家を69件改善することができました。【住宅課】	○ ③

※厚木基地騒音対策協議会会員（行政関係）

町田市・神奈川県・横浜市・藤沢市・茅ヶ崎市・相模原市・大和市・海老名市・座間市・綾瀬市

(4) 美しいまち並みづくりを進めます

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①地域が主体となった良好な景観づくりを進めます		
→重点事業 26 (生活風景宣言等による良好な景観づくり) P8 参照		
景観づくりの基準となるガイドラインの整備	・ 2017 年度に達成済みです。	— ③
景観づくりセミナーの実施	・ 景観イベント「マチ×看板 お店の看板まち歩き」を 10 月に開催しました。【地区街づくり課】	○ ③
景観づくり市民サポーターによる啓発活動の実施	・ 若い世代を対象とした景観づくりの新たな取り組み「みちあそび」の企画から実施までを行いました。【地区街づくり課】	○ ③
②快適な道路環境づくりを進めます		
市内各駅における放置自転車対策の実施	・ 放置自転車対策業務の円滑な遂行に努め、午後から夕方の時間帯の放置自転車に対する対策を強化しました。【道路管理課】	◎ ③
学校や地域での自転車や二輪車のマナー啓発	・ 市立小学校全 42 校(うち 11 校は天候等の影響により警察による講話のみ)と、市立中学校 7 校を対象に、自転車教室を開催しました。中学校自転車教室の実施に当たっては、生徒の保護者や地元の町内会・自治会にも案内をし、参加を促しました。 ・ 警察と連携し、街頭で自転車利用者に対して、啓発チラシの入ったティッシュ等を配りながら安全運転を呼び掛けるキャンペーン活動を行いました。 ・ イヤホンで音楽を聴きながら、スマートフォンを見ながらなど、自転車の交通ルールを守らない高校生が目立つという話を受け、市内の都立高校に、交通ルールを守らず交通事故を起こしてしまった場合の、「加害者の責任」に焦点を当てた自転車の安全利用に関するチラシを配布しました。 ・ 9月開催した「町田市民交通安全フェスティバル」の中で、「自転車安全運転スタンプラリー」と「白バイ隊員による二輪車実技教室」を実施し、自転車利用者と二輪の運転者に対して啓発を行いました。【市民生活安全課】	○ ③
都市計画道路、市街地道路での無電柱化工事の実施	・ 都計道 3・4・34 (金森) 連携引込工事を行いました。 ・ 都計道 3・4・38 号線 (木曽東) 連携引込工事を行いました。【道路整備課】	○ ③
市民ボランティア団体による道路の美化活動の推進 [アダプト・ア・ロード事業]	・ 新規に 2 団体が登録しました。既存団体には、活動報告の提出をしてもらい、また希望団体には活動に必要な物品の支援を行いました。【道路管理課】	○ ③
③ごみの不法投棄、ポイ捨ての防止に努めます		
統一美化キャンペーンの PR	・ 「統一美化キャンペーン」は関東甲信越静協議会の解散により終了となりましたが、町田市では独自に「ごみゼロデー美化キャンペーン」を毎年実施しています。2018 年度は 5 月 25 日に鶴川駅周辺で散乱ごみの一斉清掃を実施し、広報・ホームページ・ポスター掲示等を通じて PR を行いました。【環境保全課】	○ ③
美化推進重点区域 (あきかん、吸い殻等のポイ捨て防止区域) の指定及び運用	・ 4 月に多摩境駅周辺、2 月に玉川学園駅周辺でポイ捨て禁止を呼びかける啓発活動を実施し、指定区域外のポイ捨てごみの状況を確認しました。また、委託業者による指定区域の清掃を実施するとともに、啓発活動では散乱ごみの清掃を実施しました。【環境保全課】	○ ③
道路等喫煙禁止区域 (路上喫煙禁止区域、喫煙スポット) の指定及び運用	・ 美化推進指導員の委託化を検討し、2019 年度より委託化することとしました。【環境保全課】	○ ③
あき地の所有者への雑草除去指導	・ 雑草が繁茂しているあき地の所有者 (対象者) に対し、雑草除去をお願いする通知を行いました。【環境保全課】	○ ③
不法投棄監視カメラの有効利用及び、パトロールによる再発防止対策の実施	・ 監視カメラを新規で設置しました。 ・ 関係部署及び警察機関と連携し、不法投棄発生場所への啓発看板設置や不法投棄重点地区のパトロールの実施 (昼・夜) を行いました。【3R 推進課】	○ ③
土地所有者等との協働による、不法投棄再発防止対策の検討・実施	・ 不法投棄発生場所に啓発看板を設置 (31 件・80 枚) し、不法投棄防止策及び再発防止策を提案しました。【3R 推進課】	○ ③

◆基本目標 5. 環境に配慮した生活スタイルの定着

～学び・協働で進めるまちづくり～

(1) 次世代を担う子どもの環境学習を進めます

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①学校における環境教育の充実を図ります		
→重点事業 27 (環境副読本を活用した環境学習の実施) P9 参照		
各教科等における指導、環境学習、農業体験、自然体験の実施。	・ 地域の方々の協力を得ながら、学年や委員会活動でビオトープの整備を行うとともに、児童が学習などで活用しました。【指導課】	○ ②
ボランティアコーディネーター等を活用した環境教育の実施	・ 地域や保護者の協力を得ながら、学校林業体験や雑木林を利用した植物・野鳥の観察など、生物と環境の関わり学習を行いました。【指導課】	○ ②
出前講座を活用した児童・生徒、保護者への環境教育の実施	・ 幼稚園・保育園 64 回、学童保育クラブ 16 回、小学校 33 回実施し、保育園・幼稚園、小学校では保護者向けの手紙を渡すことで子育て世代の大人への啓発ができました。また新規で、幼稚園・保育園向け出前講座の内容のものをイベント出展等で実施する「公開講座」を 9 回実施しました。【3R推進課】	○ ②
②子どもの環境学習・体験学習を進めます		
→重点事業 28 (子ども向け環境講座のプログラムの企画・実施) P9 参照		
こどもエコクラブの設立促進と活動の継続支援	・ ホームページでの周知を継続するとともに、町田市内のこどもエコクラブの情報を引き続き管理しました。【環境・自然共生課】	○ ③
③環境教育情報の収集・提供を図ります		
出前講座や大学が提供する環境教育の取り組み等、既存の環境教育プログラム情報の収集、提供	・ 外部機関の環境教育プログラム情報の収集を行い、市民に対して提供する内容を検討しました。【環境・自然共生課】	○ ③

(2) 市民・事業者の環境学習・保全活動を推進します

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①市民の環境学習や環境保全活動に参加する機会の充実を図ります		
環境に関する学習機会の提供	・ まちだ市民大学 HATS 環境学講座を前期 8 回、後期 8 回実施しました。受講生の 80%以上が講座終了後も引き続きエコ活動に取り組む意欲を示しており、環境問題への関心を高めることができました。【生涯学習センター】	○ ①③
	・ 市民等を対象とした環境をテーマとしたイベントを開催し、環境学習の機会を提供しました。【市民協働推進課】	○ ①③
	・ 子ども向け環境講座のプログラムの企画・実施に加え、町田生きもの共生フォーラム、環境講演会を実施しました。【環境・自然共生課】	○ ①③
ライトダウン等節電意識向上のためのキャンペーンの開催を通じた啓発	・ 環境省「ライトダウン 2018」において市職員等に呼びかけ、節電意識の向上を図ることができました。また、本年度も相模原市、各団体との連携や調整が順調に進み、充実した事業とすることができました。【環境・自然共生課】	○ ①③
まちづくりの検討の場での環境配慮の視点の啓発	・ 小山田桜台まちづくり協議会において、まちだ〇ごと大作戦と連携しながら谷戸池公園の池の水質浄化活動を行いました。【地区街づくり課】	○ ①③
生物多様性にかかわる多様な主体の交流の場づくり	・ 町田生きもの共生フォーラムにおいて、大学講師や森林インストラクターによる講演を実施しました。団体にも来場いただき、活動 PR やチラシ等を設置して交流を行いました。市からは 2018 年度生きもの調査結果を報告し、新たな市全域の生物分布調査へ協力を呼びかけました。【環境・自然共生課】	○ ①③

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
②事業者の環境配慮への取り組みや環境保全活動を支援します		
中小企業が行う環境に配慮した整備への改修等に必要資金調達への支援	・ 町田市中小企業融資制度において環境改善整備資金のメニューを設け、取扱金融機関等と連携し、事業者から求めがあった際にはメニュー内容についての説明を行いました。また、取扱金融機関の担当者向けに、制度についての説明会を開催しました。【産業政策課】	○ ①
事業者の環境保全活動の支援	・ ECO まちだにて、エコ宣言制度を紹介し、また取材したエコ宣言参加事業者の環境配慮活動を環境白書に掲載し、PR を行いました。【環境・自然共生課】	○ ①
	・ 環境保全活動に取り組む事業者にインタビューを行い、環境白書およびホームページで紹介記事を掲載しました。【環境政策課】	○ ①
公益的市民活動への事業者参加の促進	・ 町田中央公園について、事業者との協働によって、適切な維持管理を行いました。また、広報・ホームページにより、公益的活動への新規参加呼びかけを行いました。【公園緑地課】	○ ①
里山における事業者の環境保全活動の場を提供する仕組みづくり	・ 事業者・市・NPO 法人との協定締結は、前年度で終了したため、実施しておりません。【農業振興課】	— ①
③環境に配慮した事業者を認定する制度をつくります		
→重点事業 29（まちだエコ宣言制度の推進） P9 参照		

（3）環境学習・保全活動の基盤づくりや協働の仕組みづくりを進めます

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
①環境に関する情報を積極的に発信します		
環境に関する情報の発信	・ ECO まちだを年4回発行しました。 ・ 環境白書 2018 を発行しました。また、ホームページでも情報を公開しました。【環境政策課】	○ ①
	・ ホームページを整理し、利便性向上を図り、普及啓発のようすを伝える機会を増やしました。 ・ 既存の町田市通報アプリの中に、情報拠点機能の一部として生きもの投稿コンテンツを整備し、2019 年4月から市民が利用できるようにしました。【環境・自然共生課】	○ ①
環境に関する出版物を充実させて提供、環境をテーマにした特集コーナーを随時設置	・ 環境に関する出版物の収集に努め、2018 年度受入合計は 146 冊で、2018 年度末の合計は 5,453 冊となりました。鶴川駅前図書館は、里山や身近な自然に関する資料をまとめた書架「みどりのコーナー」を、中央図書館では、児童コーナーに「小さな自然」と題したコーナーを設置して常設しています。【図書館】	○ ①
町田市の環境の状況・取り組み等を、白書・ホームページ等で公表	・ 2017 年度環境調査事業概要をホームページで公表しました。 ・ 航空機騒音について、市が測定したデータ及び東京都が 2017 年度に測定したデータを取りまとめ、広報やホームページで公表しました。 ・ 土壌汚染対策法に関する区域指定等の情報についても随時ホームページに掲載しました。 ・ 環境白書 2018 データ集へ新たに道路騒音及び航空機騒音の結果を掲載しました。【環境保全課】	○ ①
	・ 町田市の 2017 年度の環境の状況や取り組みなどを「町田市環境白書 2018」として公表しました。【環境政策課】	○ ①
市のイベントにおける環境配慮の取り組み推進	・ エコキャラクターハスのんの使用・貸出申請は今年度 15 件あり、それぞれのイベントの中で参加者への環境配慮の呼びかけを行いました。【環境政策課】	○ ①
	・ 緑のカーテンイベントやセミ・セミナーなどの催して公共交通機関の利用を呼びかけました。【環境・自然共生課】	○ ①
②市民・事業者の環境保全活動の情報の共有化を図ります		
→重点事業 30（ホームページの充実による情報集約・発信） P10 参照		

取り組み項目	2018 年度実施内容	評価 達成目標
③大学等との連携を進め、環境学習の機会を創出します		
相模原・町田大学地域コンソーシアムや各大学と環境学習に関する取り組みを連携・協働して行うための仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携、協働した取り組みとして環境をテーマにした講座は実施できませんでしたが、「さがまちカレッジ」で子どもを対象とした「簡単なバックを作ろう」、「クリスマス飾りを作ろう」と題した講座を協働して実施し、環境にやさしい制作の学習へとつなげました。【生涯学習センター】 	<p style="text-align: center;">△</p> <hr/> <p style="text-align: center;">①③</p>
ECO-TOP インターンの受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ECO-TOP インターンとして夏期に1名、冬期に2名の大学生を受け入れ、市の施策や事業体験を通じて行政の役割について学習してもらいました。【環境政策課】 	<p style="text-align: center;">○</p> <hr/> <p style="text-align: center;">①③</p>
④環境保全活動の担い手の育成、人材の活用を図ります		
→重点事業 31（ごみ減量サポーターの地域活動支援） P10 参照		
環境保全活動団体や環境保全に取り組む市民への支援の検討、実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町田生きもの共生フォーラムにおいて団体にも来場いただき、活動 PR やチラシ等を設置して交流を行った。ホームページにおいて、市内の生物多様性保全に関連する団体の活動紹介を行いました。【環境・自然共生課】 	<p style="text-align: center;">○</p> <hr/> <p style="text-align: center;">①③</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町田市民電力（株）と、市民発電所（2018年3月完成）の見学や市の環境施策の勉強会等を通じて、情報共有を行いました。【環境政策課】 	<p style="text-align: center;">○</p> <hr/> <p style="text-align: center;">①③</p>